

V-3-2. 幼 児 期 前 期 (案)

副田 敦裕*

1. はじめに

新生児医療の進歩は著しく、1000g未満の超未熟児も救命されるようになってきた。またハイリスク因子はできるだけ除外されるため、児が受ける身体的損傷は少ないものとなった。しかし救命率の向上により児が持つハイリスク因子の内容に変化が認められる。これらのハイリスク児を、より健康に育成していくためには、健康診査を行う上で、特に注意を要する点があると思われ、これらについて以下に述べることにする。

2. 幼児期前期の健康診査

a. 対象および目的

幼児期前期の健診においては、ある程度大きい障害を持った児は、すでに発見されていることが多く、事後措置が適切に行われているかを確認しながら指導していくことが目的となる。軽度の障害を持った児では、軽症CP、軽症MR、境界児などの発見、事後措置が目的となる。またハイリスク児は身体的にも成長の異常をはじめ斜視、難聴、呼吸器障害などにも特異的なものがみられ、これらの発見、事後措置も目的となる。

b. 健康診査の要点

早期産児は修正月齢で判定を行う必要がある。

多くは1歳までにはCatch Upしてくるが、超未熟児などでは3歳まで修正月齢で経過をみる必要の生じる事例もある。

1歳6ヵ月児(修正月齢)では、転ばないで上手に歩けること、意味のある単語が1個以上言えることが大切である。歩行姿勢、積み木や鉛筆の持ち方、言語理解程度、絵本やおもちゃなどへの興味などに注意を払い、軽症CP、軽症MRの発見に重点がおかれるべきで、境界児に関しては継続して経過を追い生活指導をしていくことが大切である。

また身体的所見では、斜視、軽度難聴、鼠径ヘルニア、停留睾丸、易感染性、痙攣性疾患などのチェックが必要である。

また保護者にとっても歩き始め、始語などがみられるため発達のひとつの転機となるが、遅れのみられる場合不安が強くなるため適切な指導が必要となる。

2歳児(修正月齢)では、かなり走れるようになり、手すりを持って階段を昇れるようになる。2語文が話せ、簡単な言いつけが理解できるようになる。正常、異常が明確となってくるが、精神発達で異常の疑いのあるものは、心理判定員によるIQ測定も必要である。また社会性の発達、行動上の発達にも注意を払っていく必要がある。

*国立大蔵病院小児科

3歳児(修正月齢)では、ごく軽度の異常の発見に重点がおかれるべきとなる。片足立ち、高台からのジャンプなどができ、鉛筆で丸もかけるようになり、姓名やある程度の文章がしゃべれるようになる。低身長など成長の異常はひとつの節目となるのでチェックが必要である。またハイリスク児は、特に視力、聴力の再確認も必要で、さらに行動特徴、社会性、対人関係などの発達にも注意を要する。

ごく軽度の障害を持った児は、のちに行動異常児、微細脳障害児、学習障害児などとして幼児期後期、学童期に実際に問題を生じてくる場

合が多く、この時期での障害の発見、事後措置は重要なものとなる。

結 語

幼児期前期のハイリスク児の健康診査は、ある程度の大きな障害を持った児は、乳児健診においてすでに発見されている事が多く、事後措置が適切に行われているか、その確認とその後の指導が重要となる。軽度の障害児はその発見に重点がおかれ幼児期後期から学童期での適応障害をできるだけ少なくするための事後措置が重要と考える。

[1歳6ヵ月児用 問診用紙]

記載者名	続柄		
名前	年齢	歳	ヶ月
(郵便番号)	(TEL:		
住所			

該当する項目を○で囲むか必要事項を記入して下さい。

1) 既往歴：次のような病気にかかりましたか？

突発性発疹 水痘 麻疹 流行性耳下腺炎 風疹 百日咳
 中等度以上の疾病にかかったり、入院や手術をした事がありますか？
 病名

2) 事故：今までに何か事故を起こしたことがありますか？

やけど, けが, 誤飲, その他

3) 予防接種：これまでに接種した予防接種は？

BCG 三種混合(I(1・2・3), II・III) ポリオ(I・II)
 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 風疹 水痘
 新三種混合(麻疹, おたふくかぜ, 風疹) その他

4) 罹患傾向：次のような事がありますか？

熱を出しやすい けいれん・ひきつけ(回)
 咳やぜいぜいがとれにくい 湿疹がしやすい 中耳炎をおこしやすい

5) 発達：確実に出来ることに○をつけて下さい。

(I)

- つかまりだちができる
- つたい歩きができる
- しばらくの間ひとりで立っている
- ひとり歩き出来る(10歩以上)
- 手を引いて階段を上がれる

(II)

- 小さいものを指先でつまむ
- 鉛筆を持ってなぐり書きをする
- スプーンを使って食べる
- 積木を3個以上積める
- ページを1枚ずつめくれる

(III)

- 引出しからものを出して遊ぶ
- 絵本の中の知っているものを聞かれると指さしする
- ママ, パパ, ワンワンなど意味のある単語を2語以上言える
- 車や人形などのおもちゃを使って, それらしく遊ぶ
- 絵本を見て3つのものの名前が言える

(IV)

- 人見知りする
- 母親の後追いをする
- 母親がいなくなると泣く
- 近くに子どもがいるとそばに寄っていく
- 他の子供が母親に抱かれると怒って押しのける

6) 生活, 習慣, 行動特徴

日常生活で次のような事がありますか?

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 寝つきが悪い | 7. 指しゃぶりをよくする |
| 2. 眠りが浅く目を覚まし易い | 8. 性器いじりをする |
| 3. 夜泣き・夜驚がみられる | 9. 好きなタオルや愛玩物を離さない |
| 4. 添い寝をしないと寝つかない | 10. 車酔いしやすい |
| 5. 偏食がある | 11. まばたきをよくする |
| 6. 少食 | 12. 困った癖がある() |

日常生活上での行動や性格として, お子さんに次のような特徴を感じられることがありますか?

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 母親がいなくなると泣く, 親から離れられない | 9. 近くに子どもがいるとそばに寄っていく |
| 2. 人見知りが強い, ひどく恥ずかしがる | 10. いろんな事に興味・関心を持つ |
| 3. すぐに泣き出す, 不安や恐れが強い | 11. 熱中して長く同じ事をする |
| 4. 驚きやすい | 12. 落ち着きがない, 少しの間もじっとしていない |
| 5. おとなしい | 13. はしゃぎすぎる, 感情の起伏が大きい |
| 6. ひとりで遊ぶことが多い | 14. よく反抗する, だだをこねて言うことをきかない |
| 7. 人に慣れやすい, 人見知りしない | 15. よく乱暴する |
| 8. いたずらが多い | 16. ほとんど反抗しない |

7) お母さんの体や気持ちの具合で悪いところはありませんか?

1. 調子いい 2. 不調 3. なんとも言えない

お子さんを育てられていく上で, 育児に対する印象は?

1. 育てやすい 2. 手間がかかる 3. 育てにくい 4. その他()

育児上の問題(生活, 習慣, 行動など)で気になること, 迷っていることがありますか?

1. _____

2. _____

その他, 気になる点(相談事項), 迷っていることは?

1. _____

2. _____

[2 歳児用 問診用紙]

記載者名	続柄		
名前	年齢	歳	ヶ月
(郵便番号) (TEL:)
住所			

該当する項目を○で囲むか必要事項を記入して下さい。

1) 既往歴：次のような病気にかかりましたか？

突発性発疹 水痘 麻疹 流行性耳下腺炎 風疹 百日咳
 中等度以上の疾病にかかったり、入院や手術をした事がありますか？
 病名

2) 事故：今までに何か事故を起こしたことがありますか？

やけど、けが、誤飲、その他

3) 予防接種：これまでに接種した予防接種は？

BCG 三種混合(I(1・2・3), II・III) ポリオ(I, II)
 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 風疹 水痘
 新三種混合(麻疹, おたふくかぜ, 風疹) その他

4) 罹患傾向：次のような事がありますか？

熱を出しやすい けいれん・ひきつけ(回)
 咳やぜいぜいがとれにくい 湿疹がでしやすい 中耳炎をおこしやすい。

5) 発達：確実に出来ることに○をつけて下さい。

(I)

1. ひとり歩き出来る(10歩以上)
2. かなり速く走れる
3. 後ずさり歩きが出来る
4. てすりを持って階段が昇れる
5. ころばないで、大きなボールを蹴れる

(III)

1. 10個以上単語が言える
2. 絵本をみてももの名前が3つ以上はっきり言える
3. 目、耳、口などを指させる(「おめめはどれ?」などで)
4. 2語の文章が言える(「パパ、カイシャ」「ワンワン、キタ」など)
5. 大きい、小さいがわかる

(II)

1. 鉛筆を持ってなぐり書きをする
2. スプーンを使って食べる
3. 鉛筆でぐるぐる丸をかく
4. パンツが脱げる
5. まねて丸がかける

(IV)

1. 母親がいなくなると泣く
2. 近くに子どもがいるとそばに寄っていく
3. 友達と手をつないだりして一緒に遊ぶ
4. 親からはなれて遊ぶ
5. けんかをすると言いつけにくる

[3 歳児用 問診用紙]

記載者名	続柄		
名前	年齢	歳	ヶ月
(郵便番号) (TEL:)
住所			

該当する項目を○で囲むか必要事項を記入して下さい。

1) 既往歴：次のような病気にかかりましたか？

突発性発疹 水痘 麻疹 流行性耳下腺炎 風疹 百日咳
 中等度以上の疾病にかかったり、入院や手術をした事がありますか？
 病名

2) 事故：今までに何か事故を起こしたことがありますか？

やけど、けが、誤飲、その他

3) 予防接種：これまでに接種した予防接種は？

BCG 三種混合(I(1・2・3), II・III) ポリオ(I・II)
 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 風疹 水痘
 新三種混合(麻疹, おたふくかぜ, 風疹) その他

4) 罹患傾向：次のような事がありますか？

熱を出しやすい けいれん・ひきつけ(回)
 咳やぜいぜいがとれにくい 湿疹がしやすい 中耳炎をおこしやすい

5) 発達：確実に出来ることに○をつけて下さい。

(I)

1. てすりを持って階段が昇れる
2. ころばないで、大きなボールを蹴れる
3. その場でジャンプが出来る
4. 足を交互に出して階段を昇れる
5. 3輪車が、2m以上こげる
6. 片足立ちが5秒以上出来る

(II)

1. 鉛筆でぐるぐるまるをかく
2. パンツが脱げる
3. まねて丸がかかる
4. 簡単な靴がはける
5. 上着の下のボタンが止められる

(III)

1. 2語の文章が言える
(「パパ、カイシャ」「ワンワン、キタ」など)
2. 大きい、小さいがわかる
3. 「きれいね」「おいしいね」などの表現ができる
4. 姓と名が言える
5. 3色(赤, 青, 黄色など)の色の区別が出来る
6. 3語文が話せる

(IV)

1. 友達と手をつないだりして一緒に遊ぶ
2. 親からはなれて遊ぶ
3. けんかをすると言いつけにくる
4. 年下の子供の世話をやきたがる
5. ごっこ遊びが他の子供とできる(役を演じられる)

名前

男・女

第 子

生年月日：平成 年 月 日 (予定日：)

1. 既往歴

在胎 週 APGAR SCORE ; (1分後) 点, (5分後) 点
出生体重 g 身長 cm 頭囲 cm

1) 妊娠-出生までの異常:

入院の有無(有・無)

病名

2) 新生児期の異常 :

入院の有無(有・無)

病名

3) 既往歴

突発性発疹() 麻疹() 水痘()

流行性耳下腺炎() 風疹() 百日咳()

中等度以上の疾病に既往, 入院や手術の有無

病名

4) 予防接種

BCG ポリオ(I, II) 三種混合(I(1・2・3), II, III) 水痘

麻疹 流行性耳下腺炎 風疹 MMR その他

5) 罹患傾向

熱を出しやすい, ぜいぜいがとれにくい, 痙攣(無熱性, 熱性)

6) 事故

やけど, けが, 誤飲, その他

2. 家族歴

祖父

祖母

祖父

祖母



3. 発達歴

I

お坐り	()
四つ這い	()
つかまりだち	()
独歩	()
階段を昇れる(手すりを持って)	()
階段を昇れる(1段ずつ)	()
階段を昇れる(交互に)	()
階段を降りれる(1段ずつ)	()
階段を降りれる(交互に)	()
ジャンプ	()
3輪車(2m以上)	()
片足立ち(5秒以上)	()
片足跳び(5回以上)	()
スキップ	()
自転車(補助付き)	()
自転車(補助なし)	()
平均台の上を歩ける	()
なわとび(3回以上)	()

II

小さな物をつかむ	()
積木が積める(3個以上)	()
なぐり書きする(直線)	()
なぐり書きする(曲線)	()
丸が書ける	()
靴がはける	()
ボタンが止められる	()
四角が書ける	()
三角が書ける	()
折り紙が織れる	()
直線にそって紙を切れる	()
ひし形が書ける	()

III

引き出しからものを出して遊ぶ	()
絵本の指さし	()
単語(3語以上)	()
おもちゃ(車, 人形など)で遊ぶ	()
単語(10語以上)	()
目, 耳, 口, などを指させる	()
大小の識別	()
2語文	()
姓名が言える	()
色の識別	()
3語文	()
高低の識別	()
会話ができる	()
住所が言える	()
数(5まで)の概念がわかる	()
身体の左右がわかる	()

IV

人見知りする	()
母親の後追い	()
バイバイする	()
他の子供に関心を持つ	()
友達と一緒に遊ぶ	()
人のまねをして遊ぶ	()
親からはなれて遊べる	()
喧嘩をして言いつけにくる	()
電話ごっこする	()
年下の子の世話をする	()
ごっこ遊びができる	()
順番を守れる	()

[1歳6ヵ月児用] 健診日： (歳 ヲ月)

身長 cm 体重 Kg 頭囲 cm

診察所見：記録者

1. 身体所見

体格 : 大・普・小 栄養状態：肥・普・やせ

形態異常：(正常, 疑い, 異常)

大頭 小頭 特異顔貌 胸郭異常 側弯 X脚 O脚

鼠経ヘルニア 停留辜丸 その他

皮膚所見：(正常, 疑い, 異常)

湿疹 アトピー性皮膚炎 血管腫 母斑 その他

眼 : (正常, 疑い, 異常)：斜視(疑い, 有り) 視力障害(疑い, 有り)

聴覚 : (正常, 疑い, 異常)：聴力障害(疑い, 有り)

胸部所見：(正常, 疑い, 異常)：心雑音

腹部所見：(正常, 疑い, 異常)

結果：正常, 疑, 異常

観察事項

2. 神経発達所見

姿勢 : 正常, 異常:

筋緊張 : 正常, 異常:

腱反射 : 正常, 異常: 病的反射(+, -):

筋原反射(+, -)

行動 : 1. 協力的 2. 啼泣 3. 過緊張 4. 多動

5. 無関心, 反応鈍 6. 依存的 7. その他

言葉 : 1. 有意語なし 2. 単語(1~3個, 3~9個, 10個以上)

3. 2語文 7. 文章, 会話

握り方 : 1. Radial Grasp 2. Pincer Grasp

鉛筆書き: 1. Spinat Grasp 2. Pronate Grasp 3. Tripod Posture 4. Dynamic Tripod

歩行 : つたい歩き: 不可・可

ひとり立ち: 不可・可

独歩 : 不可・可(High gard gait, Middle gard, Low gard)

歩行異常:

結果：正常，疑，異常
觀察事項

生活習慣，行動

総合結果：正常，疑，異常
觀察事項

[2歳児用] 健診日： (歳 ヲ月)

身長 cm 体重 Kg 頭囲 cm

診察所見：記録者

1. 身体所見

体格 : 大・普・小 栄養状態：肥・普・やせ
形態異常：(正常, 疑い, 異常)
大頭 小頭 特異顔貌 胸郭異常 側弯 X脚 O脚
鼠経ヘルニア 停留嚔丸 その他
皮膚所見：(正常, 疑い, 異常)
湿疹 アトピー性皮膚炎 血管腫 母斑 その他
眼 : (正常, 疑い, 異常)：斜視(疑い, 有り) 視力障害(疑い, 有り)
聴覚 : (正常, 疑い, 異常)：聴力障害(疑い, 有り)
胸部所見：(正常, 疑い, 異常)：心雑音
腹部所見：(正常, 疑い, 異常)

結果：正常, 疑い, 異常

観察事項

2. 神経発達所見

姿勢 : 正常, 異常：
筋緊張 : 正常, 異常：
腱反射 : 正常, 異常：病的反射(+, -)：

筋原反射(+, -)

行動 : 1. 協力的 2. 啼泣 3. 過緊張 4. 多動
5. 無関心, 反応鈍 6. 依存的 7. その他

言葉 : 1. 単語(1~3個, 3~9個, 10個以上) 2. 2語文
3. 姓名(自分, 母親, 父親) 4. 3語文

鉛筆書き：利き手：無・有(左・右)

1. Spinat Grasp 2. Pronate Grasp 3. Tripod Posture 4. Dynamic Tripod
1. 直線 2. 曲線 3. 丸

歩行 : 独歩 : 不可・可(High gait, Middle gait, Low gait)

かけ足 : 不可・可

つまさき歩き：不可・可

歩行異常：

ジャンプ：不可・可

走りテスト：啼泣(有・無)

1. 母親へ 2. 途中より別方向 3. 別方向 4. 動かず 5. その他

動作保持テスト(motor impersistence test)

側方注視持続 1回目 秒, 2回目 秒

結果：正常, 疑, 異常

観察事項

生活習慣, 行動

総合結果：正常, 疑, 異常

観察事項

[3歳児用] 健診日： (歳 ヲ月)

身長 cm 体重 Kg 頭囲 cm

診察所見：記録者

1. 身体所見

体格：大・普・小 栄養状態：肥・普・やせ

形態異常：(正常, 疑い, 異常)

大頭 小頭 特異顔貌 胸郭異常 側弯 X脚 O脚

鼠経ヘルニア 停留睪丸 その他

皮膚所見：(正常, 疑い, 異常)

湿疹 アトピー性皮膚炎 血管腫 母斑 その他

眼：(正常, 疑い, 異常)：斜視(疑い, 有り) 視力障害(疑い, 有り)

聴覚：(正常, 疑い, 異常)：聴力障害(疑い, 有り)

胸部所見：(正常, 疑い, 異常)：心雑音

腹部所見：(正常, 疑い, 異常)

結果：正常, 疑い, 異常

観察事項

2. 神経発達所見

姿勢：正常, 異常：

筋緊張：正常, 異常：

腱反射：正常, 異常：病的反射(+, -)：

筋原反射(+, -)

行動：1. 協力的 2. 啼泣 3. 過緊張 4. 多動

5. 無関心, 反応鈍 6. 依存的 7. その他

言葉：1. 単語(1~3個, 3~9個, 10個以上) 2. 2語文

3. 姓名(自分, 母親, 父親, 友達) 4. 3語文

5. 物の大小 6. 色の識別(赤, 青, 黄, 緑)

鉛筆書き：利き手：無・有(左・右)

1. Spinate Grasp 2. Pronate Grasp 3. Tripod Posture 4. Dynamic Tripod

1. 直線 2. 曲線 3. 丸 4. 十字

歩行 : 独歩 : 不可・可 (High gard gait, Middle gard, Low gard)

かけ足 : 不可・可

つまさき歩き : 不可・可

歩行異常 :

ジャンプ : 不可・可 ; ジャンプ (3 回以上連続) : 不可・可 ; 幅跳び : 不可・可

片足立ち : 不可・可 (5 秒以上) ; 左・右 ()

走りテスト : 啼泣 (有・無)

1. 母親へ 2. 途中より別方向 3. 別方向 4. 動かず 5. その他

動作保持テスト (motor impersistence test)

側方注視持続 1 回目 秒, 2 回目 秒

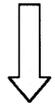
結果 : 正常, 疑, 異常

観察事項

生活習慣, 行動

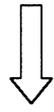
総合結果 : 正常, 疑, 異常

観察事項



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



結語

幼児期前期のハイリスク児の健康診査は、ある程度の大きな障害を持った児は、乳児健診においてすでに発見されている事が多く、事後措置が適切に行われているか、その確認とその後の指導が重要となる。軽度の障害児はその発見に重点がおかれ幼児期後期から学童期での適応障害をできるだけ少なくするための事後措置が重要と考える。